

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワーク 2 A 班

(総合 F) 元々のグループに残っている方にお話をします。元々のグループに残っている方は、皆さんに、この意見はこういう内容でした、ということを説明してください。

他の方は、共感する意見にシールを貼っていただきます。詳細はサブファシリテーターにお聞きください。では、2 回目のグループワークを始めてください。

(サブ F) では、2 回目の内容について説明させていただきます。まず、1 回目のグループワークで、市民の方はピンク、専門家の方は青でご意見をいろいろお書きになりました。まず A 班に残られた方に、市民の方にはピンクの付箋を、専門家の方には青の付箋を説明させていただきます。

そのときに、専門家の方は青、市民の方は赤のシールを、説明をしていただく中で、共感されるものがあつたら、その付箋の下のほうに貼っていただきたいと思います。ですので、説明される方は、皆さんがシールを貼る時間も考えていただいて、ゆっくりめにご説明をしていただきたいと思います。

そのときは、ファシリテーターの方も共感されるものがあつたら、同じようにシールを貼っていただきます。

—— ああ、共感できる人は、誰でも貼っていいのですね。

(サブ F) 説明をしていただいて、それで共感されるところにシールを貼っていただきます。ですから、説明をしていただくようにしましょう。

(F) では、残られた専門家の方からやっていただいたらよろしいでしょうか。

—— [原子カムラびと＝原子力関係の仕事をしている人、専門家] ということで、これは単純ですよ。専門家の方々がムラだというご意見です。

[身内意識] があるのがムラだ、という方がいました。

(F) 身内意識を持っている人をムラびとと言う、ということですか？

—— そうですね。

(サブ F) 共感されたところにシールを貼ってください。

—— これは共感します。私も貼っておきます。

それから〔原子力の組織にしばられている人たち〕ということ。組織の中でいろいろ意思があります。例えば、研究機関、会社、企業、電力業界などですね。そういうところの意見に縛られている人が原子カムラだということです。

それから、〔利害団体〕ということ。ここにも、〔原子力の共通利害に関わっている人々〕という意見があります。

—— ここもありますよね。〔利益関係が強い〕。

—— そうですね、似ています。ただ、利害というときは害も含まれるのですが、こちらは利しかないという違いがあります。

〔原子力の共通利害に関わっている人々〕という意見。

(F) 利害関係に関わっている人を、原子カムラと言う、ということですか？

—— ムラの人と理解する、ということです。よろしいですか。

次に、〔闇雲に推進〕する人で、〔悪者？〕で、〔原子力を信奉している集団〕。そういう意見があります。

(F) これは、外から見たときの意見を言っているのでしょうか？ 自分がそう思っているということですか？

—— 青色ですから、専門家がそう言っているのです。

(サブ F) 専門家の方のご意見で、外から見たらそうなのではないだろうか、というようなご意見でした。

(F) いや、それはおかしいですよ。だって、その人がそのように思っていなかったら、書けないはずですから。

—— ええ。だから、本人がそう思っているということです。外から見て、ではないです。本人がそう理解しているということです。

(F) 専門家が、原子カムラは悪い人がいるところですよ、その人たちを原子カムラだと

言っているということでしょう。

—— いや、そこまで極端ではないです。原子カムラという言葉をごどのように理解していますか、という問いかけに対して、専門家の目から見たときに、このように理解されているのではないのでしょうか、ということですから、必ずしも自分が悪者だという意味ではないです。

—— そういう可能性はありますよね。中にいる専門家も大きく 2 つに分かれていて、私は原子力で仕事をしているけど、自分は悪者じゃないと思っている人と。

(F) ということは、原子カムラというのは悪いもの、というイメージですか？

—— それはここに「悪者？」というご意見がひとつあります。他の方は悪者とは書いていないけど、1人、悪者と書かれた方がいたと。それ以上は申し上げません。報告ですから。

—— それはクエスチョンマークですよ。

—— 「悪者かな？」ということですか。

(F) そうですね。断言はしていませんからね。

—— よろしいですか。進みます。「原子力の専門外の方から見た反原発の意思表示」であると。

(F) ああ、なるほど。

—— 専門外の人から見て、反原発ということをお訴える上で、その人たちを原子カムラだと言うことによって、

(F) 標的になっている人たち。

—— そうです、意思を表示する非常に都合のいい言葉。昔は原子力推進派と言われていたもの。

それから、「放射線に鈍感」な人が原子カムラの人たちだという見方があります。

一方で、科学的に根拠があるために、放射線に対してそんなに問題がないという考えなのだろう、という意見の方もいらっしゃいます（「科学信奉者」）。つまり、放射線に対して

危ないという意識があまりないという点では共通なのだけど、科学的な根拠があるからそう考えていますという意見です。

次に、〔ムラのバウンダリーはどこなのか〕というご意見がありました。自分はたぶん入っていると思うけど、境界は何だろうという疑問を示されています。

(サブ F) 皆さん、大丈夫ですか？

—— つけるかどうかは皆さんの意思ですから。

(サブ F) 意味が分からなかったら、止めて聞いてくださいね。

—— 〔原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ〕、これは〔専門家集団〕と似ているのですが、先ほど〔組織にしばられている〕という意見もありましたけど、原子力関係の仕事に就いているコミュニティという点で、ここは共通項は多少あります。よろしいですか？

それから、〔プライベートは「ムラ」の外？〕。専門家の中には、自分はプライベートではムラに入っているつもりはないけれども、仕事の関係ではムラの間人かなというご意見です。では、〔原子力技術者の家族も「ムラ」人か？〕ということで、ご本人も疑問に思っておられました。

—— ああ、うちはよく言われますね。

—— それから、ムラという言葉は〔人間の一面しか表さない〕。この意見は私も十分に理解をしていないのですが、どういう意味でしょうか？

(サブ F) プライベートでは家庭も持っていて、原子力の仕事ではないところでの考え方もある。そして仕事では原子力のことを考えている。両面持っている、という話ですね。

—— ムラに半分しか足をかけていないということですね。

(サブ F) ええ、自分はムラの中の間人だと思っているけれども、プライベートはムラの外にいますと。

(F) ムラの definition ではなくて、ムラに対する好感度とか、価値づけを言っている場合が多いですね。

—— そうですね。この辺りは **definition** というよりは、

(サブ F) **definition** という言葉が分からないと思います。

—— ああ、概念です。

(F) 概念や定義。今は「どんなものか」という定義を論議していると思うのだけど、[プライベートは「ムラ」の外?] というのは、自分で判断しないといけないことじゃないかな。

—— これは自分の存在 (についての意見) です。だから、これは定義や概念とは少し違うと思います。でも、こういうことをおっしゃっていたということです。そして、[バウンダリーはどこなのか] というご意見も、似たところがあります。

[安全の基準は明確]。この意見は分からなかったですね。

(サブ F) それは、[科学信奉者] という意見と似ていまして、

—— 似ているのですか？

(サブ F) 安全というのは科学的には基準は明確だけれども、安心という言葉は人によって違う、というようなことをおっしゃっていました。

(F) その意見と原子カムラとの関係はどのようなのですか？

(サブ F) そこから発展した意見ですね。

—— こう思っている人がムラの住民かどうか、ということですよ？

—— そこははっきりしなかったですね。すみません。一応説明させていただきましたので、以上で終わりにさせていただきます。

(サブ F) 次に、A 班に残られた市民の方にピンクの付箋を説明していただきます。

(F) 分かりやすい言葉が多いですね。

—— 市民の方は、皆さん分かりやすい言葉で表現されています。

〔不透明〕。ムラ自体が不透明であるということを言っている。

—— 中が見えないということですね。

—— 〔隠ぺい体質〕というのは、まあ、そのままの言葉です。

〔専門家集団〕。

〔閉鎖的〕。これも〔隠ぺい体質〕と重なると思います。

〔利益関係が強い〕。

(F) それはそうですよ。

—— これは、先ほど出てきた利害に関する意見と重なるところもあります。

〔とっつきにくい〕。言葉としてもとっつきにくいというか。

(F) 専門用語ですからね。

—— 〔あ・うんの関係〕というのは、これはお上との関係もあるのでしょうか。

(F) よしなに、ということですね。

—— 〔経営と現場の乖離〕。実際に作業をしている人間と経営している人間が乖離していると。

—— 乖離しているけれども、とにかく両方ともムラです、というご意見ですね。

(F) 経営者も現場の人も両方ムラの人。ただ、二者は別々の動きをしている。こういう話ですか？

—— そうですね。

—— だから、「乖離」は関係ないのかもしれない。

—— 乖離はちょっと。言葉が難しいですね。

(F) 本店の人は分かっていなかったじゃないか、という意味ですね？

—— そうですね。

次が〔ムラって？〕。ムラが一体何かというのは分からないと。

(F) そうですよ。例えば戸籍謄本はあるのか、ということですよ。

—— そうです。

ちょっと今思ったのですが、ムラというのはあまりいい言葉ではないですよ。

(F) そういうイメージはありますね。

—— あとは、〔一般人との温度差〕があるというご意見がありました。

—— 温度差というのは、どういう意味でしたっけ？

—— これは、放射能に対する温度差、ということです。

〔原発事故処理 後手後手〕。

(F) 後手後手なのが原子カムラだと。

—— うーん、これは少し感情的な意見なのですね。

〔放射能被曝がうやむや〕。これも感情的な部分ですね。

〔唯一の被爆国なのになぜ？〕。

(F) 気持ちは分かりますけどね。

—— 〔自然エネルギー反対ムラ〕。これも意味が分からないのですが。

(サブ F) 自然エネルギーに反対する集団という意味だと思います。

—— ちょっと書き足しておいてもらいますか。

(F) 自然エネルギーに反対する人々が集まっているムラ、ということでしょう。

—— なるほど。これは正しいですよ。自然エネルギーを嫌う人たち。

(F) 自然エネルギーというのは、私は反対派ですから。

(サブ F) たくさん貼られましたね。

—— [再生可能エネルギーの障壁]。

(F) どうでしょうか。再生可能エネルギーというのは何の？

—— これと似たような意味ですね。

—— 要は、ムラがその障壁となっているのではないか、という意味だと思います。ムラがブロックして、それが発展しないと。

[内部被ばくの連鎖に対して不説明]。これはありますね。

[原子力発電推進団体]。

(F) これは当然ですよ。そのために原子力学会もあるし、仕事しているのだから。

—— ここは3個くらい貼りたい気がする。

(総合 F) ファシリテーターの皆さん、あと5分です。

自分のご意見が入っていないという方には新しく書いて貼ってもらったり、そういうことをしていただければと思います。

—— [税金で守られた特権組織]。これは少し微妙ですね。

—— いや、私はこれは重要だと思います。特権組織ですよ。

—— 特権組織って？

—— 予算をもらっているとか。

(F) 2回目のグループワークは、1回目のグループワークに束縛されるから、まったくゼロからやれないという意味の問題点はありますね。

—— そうですね。ここで(追加で)書いてはいけないのですか？

(サブ F) いえ、新しいご意見を書いていただいて構いません。

(F) いや、そういうのはすぐ書けるものではないと思うのですよ。それは無理ですよ。

— それに、前のグループで書いていけば、ここでまた同じことを書いても重複しますよね。だから、書く必要はないかもしれない。

(サブ F) でも、書きたいという人がいれば、ぜひ。

(F) 私は向こうでは、東大と京大の集合体だと書きました。学閥だと。

— いや、東大だけだと思いますね。京大が入っているとは思わない。

(サブ F) あと 5 分くらいなので、追加のご意見がありましたら、お書きください。

(F) 5 分くらいですか？ 皆さん、誰も考えていないことをひとつ書きましょう。この中に書いていないこと。

— そうですね。他のグループでも書いていないこと。

(F) そう、他でも書いていないことを書きましょう。そうしないと、自分たちの頭のキレを見せつける場がないので。

(サブ F) 絞り出しましょう。

(F) そう。土曜日だから疲れはしているけれども。

(サブ F) でも、十分出ていますね。

(F) 向こうで私は、「元素記号が言える人」と書きました。だって、分からないですよ、元素記号。

— いや、物理の人でいますよ。

(F) ああ、物理が好きな人。

— それは専門家ということですよ。ということは、原子カムラは専門家に限ってい

るといことですよ？

(F) もちろんそうですね。

—— うーん、どうかな。そうかもしれないし。まあ、そう書いている方がいるということは事実です。

—— では、専門家の方は、専門家の人が原子カムラの人だと思っているということですよ？

—— そうです。

(F) これは「ムラびと」のことを言っていると思うのですよ。「ムラ」の概念か、中にいる「ムラびと」を定義するか、どちらかを言わなければいけないわけでしょう。

ムラびとは、[物理が好きで文系を嫌いな人]。

(サブ F) この意見に賛同する方がいらっしゃったら（シールを貼ってください）。

—— ムラの人？ それは専門家の人を、えっと、そうなんだ。

—— いいですか。[市民に「原発安全」とまちがって説明した人たちの集団]。これが原子カムラ。

(サブ F) ご賛同される方は今シールを貼ってください。新しい付箋に賛同される方は、すぐにシールを貼ってください。

—— 賛同しないシールというのはないのですか？ 積極的にマイナスなシール。

—— 貼らなければいい。それは賛同していないということの意味するから。

(F) 20 票集まったら最大なのでしょうね。

—— だけど、そう考えると、1 回目のときにシールを貼っていないというのは少し問題ですね。

(F) そうですね。前の発表のときに貼っていないから分からなかった。

—— まあ、いいでしょう。それは方法論ですから。

(F) まあ、原子カムラというのはどの辺りにあるのか知らないけれども、ムラというものがあって、そこにムラびとがいて、皆で仲良く生活しているけど、他の人たちとは違う、というイメージを持っているのでしょうかね。

それがいいかどうか、ということだけど、先ほど話があったように、この言葉の中に差別用語を入れていますから、

—— そうですね、差別ですね。

(F) だから、私は良くないと思うのですよね。

(サブ F) では、〔差別用語〕というご意見はここにはないので、書いてください。

—— (差別用語という意見は) なかったですね。

(F) だって、ムラびとを守る人が1人もいないのですから。

—— これは賛成です。差別用語です。もっと優しい言い方があってもよかったのに。

(F) おっしゃる通りだと思います。

—— 私は逆の言い方をしたのですが、そういう言葉を使うことは、反原発の方々が攻撃するときの非常にいい材料、言葉なのですよ。

(総合 F) 時間になりました。皆さん、シールをたくさん貼っていただいたと思います。貼り足りない方はさっと貼っていただいて、3番目のグループに移動の準備をしてください。

(F) グループワーク1でもシールを貼るようにしたほうがよかったのですよ。そのほうが数が分かりやすかった。

(サブ F) 今、最後に、差別用語ではない、というご意見もありました（〔村〕自体は差別用語と思わない）。

(総合 F) 3回目のグループに移動を始めてください。

<終了>